

学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)の見方

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

生活習慣等に関する調査

質問項目の内、さいたま市が重視している12項目を抜粋して掲載しています。

質問項目	さいたま市の回答状況	自分の回答
将来に関する意識	① 将来の夢や目標をもっている。	86.9 %
学校生活等	② 学校に行くのは楽しい。	89.2 %
自尊意識	③ 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。	83.1 %
		84.6 %
		84.4 %
		92.1 %
		83.3 %
2年分の調査結果が併記されます。 市の回答状況も参考にしながら、 振り返ってみましょう。		
学習時間等	④ 家で自分で計画をして勉強をしている。	66.1 %
	⑤ 読書が好き。	73.1 %
キャリア教育	⑥ 学校ごとや働くことの意義を考えたり、今、学校で学んだこと、自分の将来とのつながりを見つめたりしている。	63.4 %
規範意識	⑦ 学校の規則(つまり)を守っている。	83.4 %
家庭でのコミュニケーション	⑧ 家の人と学校での出来事について話す機会がある。	83.4 %
⑨ 家の人と学校での出来事について話す機会がある。		

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。



「学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。

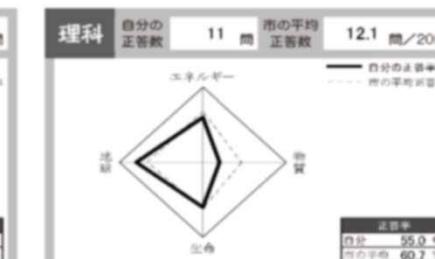
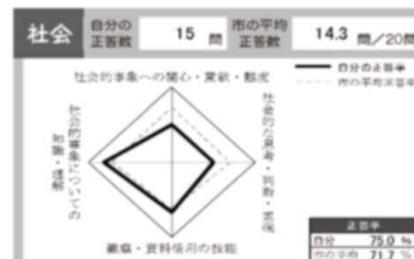
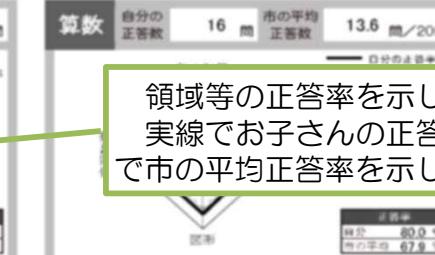
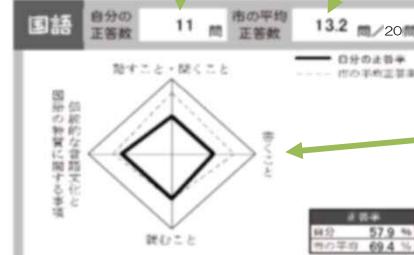
保護者より

平成30年度 さいたま市学習状況調査【小学校第6学年】

学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)

お子さんの正答数を示しています。

さいたま市の平均正答数と自分の正答率を比べて、自分が



市の平均正答数を示しています。
分母は問題数を示しています。
※ここでは、国語は、全20問のうち、市の平均正答数は13.2問であることを示しています。

領域等の正答率を示しています。
実線でお子さんの正答率を、点線で市の平均正答率を示しています。

- *正答数
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- *市の平均正答率
さいたま市の児童が、各宿題や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- *自分の正答率
あなたが、各宿題や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。



さいたま市教育委員会

名前

「学力に関する調査」の各設問ごとの解答状況等を確認することができます。

保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

平成30年度 さいたま市学習状況調査【小学校第6学年】

6年 名前

調査結果表

国語

さいたま市の回答が各項目に正答した割合(%)を示しています。
○：正解 ×：誤解 ○：誤解を含めています。

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
	(一)1	90.5	○	同じ字をまとめて記入している漢字を読むことができる。(練習)	
	(一)2	93.9	○	同じ字をまとめて記入している漢字を読むことができる。(組)	

問題ごとの市の平均正答率を示しています。

算数

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
1	(1)	71.0	○	小数の乗法の計算をすることができる。(H27/小6大問1(1)計算)	
1	(2)	69.0	○	減法と除法の混合した整数の計算をすることができる。(H27/小6大問1(2)計算)	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
2	(1)	88.7	○	分数の乗法の計算をすることができる。	
2	(2)	82.7	○	分数の除法の計算をすることができる。	
3	(1)	65.9	○	整数と小数と分數の混合した計算をすることができる。	
3	(2)	56.2	○	除法で割り切れないとき、分数の除法で用いて考えることができる。	
4	(1)	53.8	×	1にいたる大きさを求めるために除法が使われていることを理解している。(H27/小6大問1(3)1(1)と類似)	
5	(1)	37.5	×	円周の求め方を覚えて、円周を組み合わせた四角の求め方を覚めることができる。	
6	(1)	63.5	○	二直角の傾きを求めることができる。	
7	(1)	90.3	○	（一定時間あたりの距離）と（一定時間あたりの速度）の関係について理解している。	
7	(2)	55.3	○	速さを求める式の意味を理解している。(H27/小6大問1(2)類似)	
8	(1)	61.5	○	懸念の意味と特徴を理解している。	
9	(1)	89.8	○	対称軸の意味と特徴を理解している。	
10	(1)	54.6	×	角の度量について理解している。	
11	(1)	76.1	○	与えられた図形の並び順をかくことができる。	
12	(1)	15.6	×	グラフに表示されている単位を読み取ることができる。	
13	(1)	82.7	○	図に表された数量の関係を読み取り、おはじの数を求めることができる。	
13	(2)	81.1	○	数量の関係を表した式の意味を読み取ることができる。	
14	(1)	83.9	○	与えられた単位から、隣接していくつかい(四捨五入)を求める。平行四辺形の面積を用いて、面積計算をすることができる。	

平成30年度と平成29年度の調査結果を比較することができます。

国語と算数の平均正答率に網掛けがついている問題は、5年生のときに出題された問題と似た問題が出題されています。
昨年度の個人票を見直し、自分の学力の伸びを確かめましょう。



2年間の調査結果から	アドバイス
○ ○ あらし。いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。	×
○ × 同じような問題をくり返し練んで、力を伸ばしてみましょう。	×

社会

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
1	(1)	73.3	○	八方図(全東)と理解している。	
1	(2)	69.0	○	自転車やカーブの回り方を組み合わせて読み取ることができる。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
2	(1)	75.7	○	近畿地方のつなぎ方と、モーターの回転力を回送付けて考えることができる。	
2	(2)	67.4	×	近畿地方のつなぎ方と、モーターの回転力を回送付けて考えることができる。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
3	(1)	61.5	○	男性による物の倒れ方を理解している。	
3	(2)	25.7	○	物が倒れるときに、空間中の位置の一部が倒れて、二軸に変換ができることを理解している。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
4	(1)	69.3	×	物が倒れ続けるためには、空間中の位置の一部が倒れて、二軸に変換ができるためには、逆さで位置が入れかわる必要があることと身をもよおして吊り下げて考えることができる。	
4	(2)	43.1	○	水の勢を正しく理解している。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
5	(1)	32.1	○	水は倒し続けると沸騰して、水蒸気になることを理解している。	
5	(2)	72.6	○	生物の成長に必要な養分のと方式について弱点をもって考察して分析できる。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
6	(1)	79.3	○	生物の成長に必要な養分のと方式について弱点をもって考察して分析できる。	
6	(2)	60.4	×	駆動器具の動作を理解している。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
7	(1)	53.1	○	国際標準の適切な製作方法を身に付けている。	
7	(2)	45.0	○	極端に速した豆皿(豆皿)について、豆皿の様子と豆の豆た籽を連れて、その内容を述べできる。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
8	(1)	55.2	○	水の表面によってできた泡の結構を理解している。	
8	(2)	82.9	○	結氷した結晶から、結晶の広がりについて答えることができる。	

領域	大問	小問	平均正答率	自分	宿題のねらい
9	(1)	43.1	×	水のはたらきによる洗浄の考え方を考えることができる。	
9	(2)	88.0	○	月は太陽の光を反射して光っていることを理解している。	

「学びの足あと」は、お子さんの今までの調査結果を、記号で示しています。
上の「調査結果表」と併せて、お子さんの学習状況の把握に御活用ください。

※市の平均正答率によって、満点でも前年のひし形の位置より下がる場合もあります。

学びの足あと (学力に関する調査の経年比較)



*保護者の方へ
お子さんの学力に関する調査結果を家庭学習などにも生かしていただけますようお願いいたします。

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。

